カメラ探訪

三陸鉄道完通目指し 喜びの工事再開

「さあ、３年後には全通だ」──。

59年度から「三陸鉄道」として運営される国鉄久慈、盛線の未開通区間、久慈線普代―田老間（32.2㌔）、盛線釜石―吉浜間（15㌔）の起工式と祝賀会が３月27日それぞれ現地で開かれた。

両線ともレールの敷設はほぼ終わっているが、現在は久慈線普代―小本間のレール工事が行われ、今後の工事は駅舎設備、信号施設などが中心になる。

工事再開は地域住民にとって、長年の悲願達成の第一歩であり、早期開通に向けて大きく夢が膨らんだことに違いない。

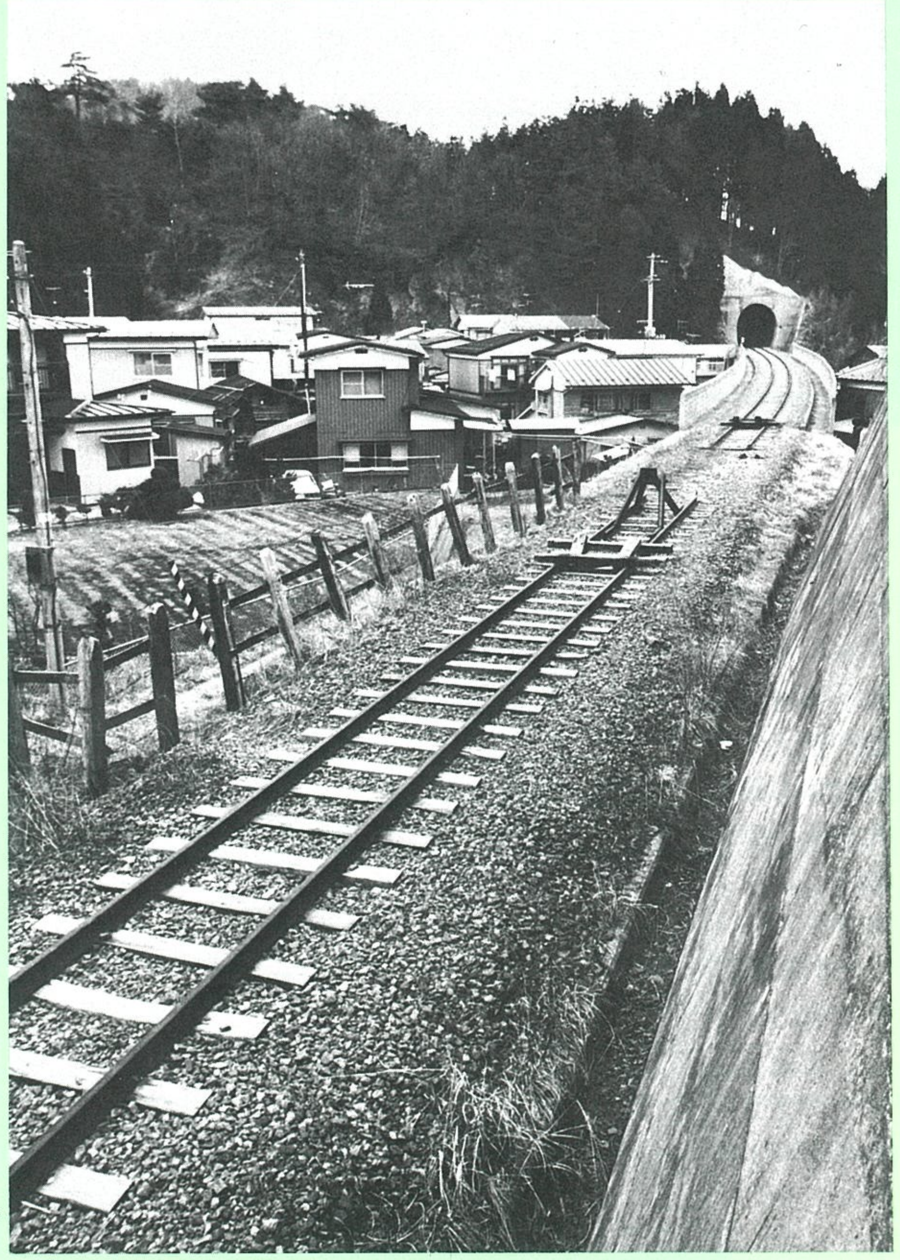
写真は着々と進むレールの敷設作業（田野畑村切牛トンネル入口付近）

◀署名入りの石を線路に敷く中村知事。円内は署名された石（田老町）

▲59年度には、駅名標に新設される摂待駅の名称も入り電車が走る

盛線はすでに釜石駅の約200㍍手前まで完成し、早期接続が待たれている▼

▲地域の足となる三陸鉄道の実現に期待を込めた署名入りの石がお年寄りや子供の手によって敷かれた〔田老町〕



工事の中断により、レールが途切れている久慈線▶